

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	工事検査事務事業評価				開始年度	
基本目標	健全な財政運営				終了年度	
担当課(局)	総務課	担当係	契約管財係	記入者	濱本 明俊	評価者 間 省二
20年度決算	千円	21年度予算	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助	<input type="checkbox"/> 単独
20年度人件費	719 千円	21年度人件費	728 千円	事業従事者数	0.10 人	0.10 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	請負業者の施工管理の向上と町内業者等格付に使用する工事成績評点の平準化を図る
事業の内容	完成工事検査を行う専門の検査員・監督員等の設置をし、工事監理・検査の一元化をすることにより、工事成績の採点をする際の主観による誤差を減少させる。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# マニュアル作成	マニュアル作成により、各検査員及び監督員個人の主観の違いによる誤差を無くすることができる。
	2	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 資格審査会開催	資格審査会での協議を2回行う。
	2	
	3	

◎達成状況

	指標名	単位	19年度	20年度	21年度
成果指標	マニュアル作成	目標値	0	0	1
		実績値	0	0	
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
0	目標値				
	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	資格審査会開催	目標値		1	1
		実績値		2	
		達成率	%	#DIV/0!	200.0%
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
0	目標値				
	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	工事検査体制を拡充させ、工事成績について各検査員が平等に審査できる体制をつくる。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	工事成績は、2年に1度の業者の格付けにも使用されるため、各検査員の主観により点数が変わることは、業者にとって死活問題となる場合も考えられるため、客観的に成績を付けられる体制若しくは成績表の拡充を図る必要がある。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	検査マニュアルを作成することで、解決するものとする。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	なし

事務事業名	工事検査事務事業評価	担当課(局)	総務課
-------	------------	--------	-----

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	<p>◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等</p>	<p>工事の成績は、今後導入の可能性のある総合評価落札方式にも採用される重要なものなので、検査体制の拡充を図り検査員それぞれのスキルアップと客観的な工事成績表は必要不可欠と思われる。</p>	今後の方向性				
			拡充			○	
			現状維持				
			縮小				
			廃止				
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	—	◎現状の方式では評価に馴染まないと考えるので、今後の評価対象から外す。
	コスト	—	